

新型コロナウイルス禍と教育

—新たな学びのあり方を探る—

主催:敬愛大学総合地域研究所

新型コロナウイルスのパンデミックは、世界各地で教育を取り巻く環境に多大な負の影響を与えました。パンデミックの影響は、教育機関で学ぶ子どもたち、学生たち、教育機関関係者のみならず、その家族、そして社会にも及んでいます。その一方で、教育の現場でのさまざまな工夫から、希望ともいえる変化も生まれています。

本シンポジウムでは、未曾有のパンデミックにより日本の教育が抱えた課題を踏まえ、ポストコロナ期における新たな教育のあり方を探ります。

みなさまのご参加をお待ちしています。

プログラム

趣旨説明 13:00~13:10

向山 行雄 氏 敬愛大学教育学部学部長

基調報告 13:10~13:50

「ポストコロナ期における新たな学び
—第12次教育再生実行会議を終えて—」

三幣 貞夫 氏 千葉県南房総市教育委員会教育長、
教育再生実行会議有識者メンバー

パネルディスカッションおよび質疑応答

13:50~15:20

パネリスト

小学校・中学校の教育

市川 洋子 氏 敬愛大学教育学部教授

高校の教育と情報教育

野澤 則之 氏 千葉県立白井高等学校長、
千葉県高等学校教育研究会情報教育部会長

大学の教育と学生支援

小林 雅之 氏 日本高等教育学会会長、東京大学名誉教授、
桜美林大学国際学術研究科教授

教育と社会

武内 清 氏 敬愛大学客員教授、上智大学名誉教授

シンポジウムを終えて 中山 幸夫 氏 敬愛大学学長 15:20~15:30

4年間の学びを、力に変える大学。



敬愛大学

未来へ、君へ。

<https://www.u-keiai.ac.jp/>



お問い合わせ

敬愛大学 大学運営室

E-mail daigaku-unei@u-keiai.ac.jp

TEL 043-251-6363

2021年

12月18日(土)

13:00~15:30

オンラインで
開催いたします。

参加無料

参加ご希望の方は、以下の
URLよりお申し込みください。

URL
<https://forms.gle/Yf36MpFQ1jJXkpB26>

右のQRコードからも
申し込みが可能です。



申込締切日

12月13日(月)

当日の詳しい視聴方法は、12月15日(水)
にメールでお知らせします。



稻毛キャンパス新校舎について

<https://www.u-keiai.ac.jp/about/newcampus/>



2024年春 稲毛キャンパスに新校舎が誕生！

学校法人千葉敬愛学園は、総合学園として魅力ある教育環境の整備を進めています。その一環として、2024年春、稻毛キャンパスに新たな学びの拠点となる新校舎を建設いたします。地上9階、地下1階の新校舎は、本学園のビジョンを具現化するものです。学生が生き生きと学ぶキャンパスを実現し、地域に開かれた学園としてさらに発展することを目指します。

新たな学園のシンボル

新校舎は、学生の創造性を育み、地域交流の新たなランドマークとしても機能するよう設計されています。大空にたなびく白くやわらかな「雲」をモチーフにした外観は、町に溶け込みながら新鮮な感動を与えます。学生の交流をサポートする学生ホールやリニューアルした図書館、食堂等を備え、活気を生み出すことが期待されます。2026年に創立100周年を迎える本学園の未来を託す建物となります。

